

## 長く続いた戦争と人々の暮らし

### ☆単元目標

- 日中戦争～太平洋戦争の終戦の出来事や人々の暮らしの様子について理解し、資料から必要なことを読み取ることができる。
- 調べたことを説明しやすいようにノートにまとめて友達に説明することができる。
- この時代と今がどのようにつながっているのかを考え、協力して課題を達成しようとしている。

### ☆単元の構成（全7時間）

- 学習の進め方を知り、単元の範囲をチェックする。（1時間）
  - ・教科書を読み、気になった内容や言葉をチェックすることができる。
- 追究したいことを決め、課題を立てる。（1時間）
  - ・自分の追究したい課題を1～3つ程度きめることができる。
- 立てた課題を追究する。（2時間）
  - ・追究した内容をノート（見開き1ページ分）にまとめることができる。（資料についても出典を記録する）
- 追究した内容をたがいに交流する。（2時間）
  - ・調べたことを説明し、それぞれがどのように関係しているのかを自分の言葉で話せるようにする。
- 単元の振り返りをする。（1時間）

## ☆単元の内容

- ①中国との戦争が広がる（教科書P130～131）  
世界中が不景気になった中、日本は中国に勢力を伸ばすことで景気を回復しようとし、中国との戦争になりました。
- ②戦争が世界に広がる（教科書P132～133）  
日本が中国と戦争をしていた頃、ヨーロッパでも戦争が起きました。（第2次世界大戦）日本はドイツやイタリアと同盟を結び、アメリカやイギリスと戦争を始めました。（太平洋戦争）
- ③すべてが戦争のために（P134～135）  
戦争中は戦時体制として人々は配給制、勤労動員、集団疎開など戦争に協力することが求められいろいろなことが制限されました。
- ④空襲で日本の都市が焼かれる（P136～137）  
アジア・太平洋地域で戦っていた日本軍は次第に不利になっていき、やがてアメリカ軍の飛行機が日本の都市に爆弾を落とすようになりました。
- ⑤原爆投下と戦争の終わり（P138～139）  
1945年になるとアメリカ軍は沖縄に上陸し、攻撃はますます激しくなりました。8月には広島と長崎に原子爆弾が落とされ、日本は降服し戦争が終わりました。

## ☆1時間の流れ

- ①ロイロノートでワークをする。（5分間）
  - ②その日の課題をすすめる。（30分間）
  - ③その日の振り返りをする。（5分間）
- ※ 5分間は予備（活動の切り替えにかかる時間）。